

「平成を締めくくる撮影会」

～写真同好会～

写真同好会の平成を締めくくる撮影会を、4月21日（日）「奥播磨かかしの里」で開催しました。兵庫県姫路市の最北部にある「かかしの里」は、四方を山に囲まれ、段々畑と昔懐かしい佇まいの民家が点在する小さな集落です。この郷愁あふれる山里には15人の住民と130体のかかしが暮らしていて、集落のあちこちでほのぼのとした表情をした等身大のかかしが出迎えてくれます。

野良仕事に精を出す夫婦、満開の桜の木の下で花見を楽しむ一家、縁側で憩うお年寄り達……。思わず「いい天気ですね～」と声をかけたくなるほどリアルなかかし達です。しかしながら、かかしそのものを撮影するだけでは能がありません。観光客や住民の皆さんにご協力をお願いするなどして、参加者それぞれが作品作りに知恵を絞っていました。日本の原風景が残る山里と表情豊かなかかし達、心を癒される一日でした。（写真同好会幹事 伊藤嘉之）



アララッ!



てごうしましょう!